

## 平成28年度滋賀県がん診療連携協議会・第3回診療支援部会 議事概要

日時 平成29年2月16日(木) 18時00分～19時05分  
場所 滋賀医科大学医学部附属病院 4階 第4会議室  
出席者 谷眞至(滋賀医科大学医学部附属病院)  
南部卓三(公立甲賀病院)  
來住優輝(彦根市立病院)  
林嘉彦(市立長浜病院)  
青木悦雄(大津市民病院)  
重松忠(代理:日置)(済生会滋賀県病院)  
石川博己(近江八幡市立総合医療センター)  
目片英治(東近江総合医療センター)  
重永博(滋賀県医師会)  
松井泰成(滋賀県歯科医師会)  
小杉奈緒(滋賀県薬剤師会)  
吉村雅寛(滋賀県放射線技師会)  
寺田智祐(代理:野田)(滋賀県病院薬剤師会)  
芥田敬三(滋賀県放射線治療連絡協議会)  
野坂明子(滋賀県健康医療福祉部)  
嶋田宏之(滋賀県立成人病センター)  
欠席者 土井隆一郎(大津赤十字病院)  
川上賢三(滋賀県立成人病センター)  
小泉聡(高島市民病院)  
卜部諭(草津総合病院)  
駒井康伸(長浜赤十字病院)  
三上房枝(滋賀県看護協会)  
山本伸子(滋賀県歯科衛生士会)  
醍醐弥太郎(滋賀医科大学医学部附属病院)  
オブザーバー 藤田陽子、奥井さよ子(滋賀県がん患者団体連絡協議会)

(敬称略)

## 1. 報告

部会長から、前回の部会（平成28年10月18日開催）の議事録について、ご意見等があれば事務局までご連絡願いたいとの依頼があった。

引き続き、滋賀県から、2月13日に厚生労働省で行われた会議の資料「がん診療提供体制のあり方に関する検討会 議論の整理概要」（席上配付資料）に基づき、がん診療提供体制、がん医療に関する相談支援と情報提供、がん診療連携拠点病院等における医療安全、がんのゲノム医療、がんの放射線治療に関して、現状と課題並びに今後の方向性についての情報提供があった。

## 2. 議題

### (1) 平成28年度の取組について

#### 1) 「がん診療連携拠点病院等のがん診療に関する機能分担の評価の検討」、「がん医療の質の向上に向けたアウトカム評価の検討」について（資料1）

部会長から、本議題に関しては、今年度の各回の部会で議論してきたところで、特に、評価における数値については、各医療圏における状況も異なり提示が難しいこと、また、単に数値を出せばよいというのではなく、数値の独り歩きが結果として患者の不利益につながるといったことが懸念されるといったこと等、議論に関する説明があった。

今回、議論のきっかけとして、医療圏別の数値が算出されているものとして情報公開されている「滋賀県におけるがん検診実施状況」を提示した旨説明があり、引き続き意見交換を行った。

- ・本資料の検診は、市町で行われているものが対象で、職域のものは含まれていないため、受診率は低くなっている。ただ、精密検査の受診率に関しては高く、滋賀県は全国でもトップクラスである。
- ・一般の方へ検診の意義を伝えるならば、がん発見率をアピールしておくことが重要ではないか。
- ・市町の検診では、症状が無い方も受診しているため発見率は低いが、それでも、がんが発見されているといったことはアピールできる点である。
- ・発見されているということは重要な意味を持つので、冒頭に示されていることが必要ではないか。
- ・がんの発見に関しては、難しいが追跡調査が必要である。
- ・追跡調査に関しては、がん登録の進捗に伴って、31年度には値が出て来る見通しである。
- ・がん登録の検診では、市町の検診に加えて、人間ドックなどが含まれているもののがん発見率は低いが、医療圏別の比較はできる。
- ・発見率に関して、胃がんや大腸がんなどは速やかに分かるが、肺がんには経過観察が伴うので値は速やかに出ない。
- ・受診率のベースである対象者について、現時点では対象年齢人口から導出した推計値である。30年度の検診からは、国民健康保険、組合健保といった保険者がベースとなる予定である。

- ・本部会では、「がん情報しが」のアクセス件数も取り上げているところである。ホームページでの数値の公開に関しても、その意義を伝えるものに関しては、サイトの深いところではなく、できるだけ表の方に置いておくことを踏まえておくべきことである。

## 2) 診療支援推進の仕組みの検討等、各団体の取組について（資料2）

部会長から、診療支援推進の仕組みについても、各医療圏において状況が異なり、一律に論じることは難しく、また、部会に病院長といった組織に関する決定権者が参画していないので議論には制約があることも認識しているところである。ただ、その中でも各医療機関等における問題について情報共有を図りつつ、部会として提言できることを見出していくことも役割ではないかとの説明があった。

引き続き、各団体から、本年度の取組について報告並びに意見交換を行った。

### （滋賀県医師会）

28年度

- ・他団体から依頼された研修会等を積極的に後援。
- ・「がん関連」の研修会等について、滋賀県医師会報に掲載して会員に周知した。
- ・「5大がん地域連携パス」を有効利用し、病診連携をスムーズに行えるよう会員に周知した。

29年度

- ・28年度の取り組みを引き続き実施する。

地域連携パスについて質問があり、がんの種別により使用状況の差があること、また、病院でも医師による使用の差も見受けられる旨回答があった。

### （滋賀県歯科医師会）

28年度

- ・歯科関係者向けの、がん患者の口腔ケアに関する研修会を実施した。受講者で希望した者は「連携登録歯科医療機関」として登録、全国のがん拠点病院に情報が提供されている。
- ・県委託事業「歯科医師等派遣委託事業」により、歯科の無い病院へ地元歯科医師・歯科衛生士を派遣し、入院患者の口腔機能管理を行っている。

29年度

- ・口腔がん検診の実施を検討している。
- ・「歯科医師等派遣委託事業」は、第2回の部会で、平成28年度で事業終了予定と報告していたが、平成29年度も継続されることとなった。

第2回の部会で、事業終了で困っているといった意見があったことについて質問があり、各病院へは連絡済みである旨回答があった。

(滋賀県薬剤師会)

28年度

- ・在宅ホスピス薬剤師の育成に向けた研修会の実施。
- ・医薬品共有システムのリニューアル。
- ・滋賀医大および成人病センターで開催されたがん関連研修会への参画。
- ・無菌調製研修会の実施。

29年度

- ・28年度の取り組みを引き続き実施する。

(滋賀県放射線技師会)

28年度

- ・がん検診をテーマに診療放射線技師の関わる乳がん検診、PET検診、胃がん検診についての講演を研修会で行った。
- ・市民公開講座、研修会として「がん患者の妊孕性温存の現状と滋賀県の取り組み」を行った。

29年度

- ・前立腺がんをテーマにした研修会と市民公開講座を開催予定。
- ・マンモグラフィ単独検診化に伴う、自己検診方法の啓発活動のために放射線技師が研修会に参加。
- ・県、市町などが主催のがん診療関連研修会への参加協力。
- ・滋賀県放射線治療研究会を立ち上げて、県内施設の放射線治療技術などの情報の共有化。

(滋賀県病院薬剤師会)

28年度

- ・前年度に引き続き、セミナーや症例検討会を通じて、薬物療法等に関する基礎情報や最新情報の共有を図っている。特に、滋賀県がん薬物療法 conference では、論文作成に着目し、エビデンス構築に向けての取り組みを実施した。
- ・地域のがん薬物療法を支える薬剤師養成コースも複数回開催し、合併症を有するがん患者へのアプローチや妊孕性などをテーマに講演会を実施した。
- ・滋賀県がん対策推進イベントに参加して、一般の方へ病院薬剤師の役割等について情報の伝達に努めた。

29年度

- ・滋賀県がん薬物療法 conference は4回を予定しており、7月開催分では、看護師にも参画していただくことを予定している。
- ・地域のがん薬物療法を支える薬剤師養成コースに関しては、4月に骨転移や口腔ケアをテーマに開催を予定している。

滋賀県薬剤師会との連携について質問があり、大津市といった地域ベースで薬局薬剤師と連携している旨回答があった。

(滋賀県放射線治療連絡協議会)

28 年度

- ・放射線治療医、放射線技師、放射線治療に関係する看護師等からなる団体で、2 回の連絡協議会及び勉強会を行い、各医療機関の情報共有を行った。
- ・協議会として、フォーラム等への協賛を行った。

29 年度

- ・2 回の連絡協議会及び勉強会の開催を予定している。
- ・協議会ホームページの内容の充実を図ることとしている。

部会員から、本日欠席の看護協会について、がん診療に関して、看護師の役割は重要であり、取組結果を確認するよう意見があり、事務局から看護協会に確認することとなった。

3) HP の拡充、メーリングリストの利用によるネットワークの構築について (資料 3)

部会長から、県のホームページ「がん情報しが」のアクセス状況について、前年度と比べて、特に、予防と検診、ともに生きる、がんを治す、のコンテンツの伸びが高くなっている旨説明があった。

本部会では、「がん情報しが」のアクセス件数を評価の項目としており、各病院が実施している先進的(高度)ながん医療の情報を更新しているところでもあるが、各病院の負担も考慮しつつ、更なる情報発信への取り組みとして、各病院が広報誌等で紹介されているがん診療に関する情報を掲載することを検討していきたい旨説明があった。

また、各団体のホームページから、「がん情報しが」にリンクするためのバナーボタンが整備されている旨説明があり、リンクを張っていただくよう協力依頼があった。加えて、診療支援部会メーリングリストについても活用の要請があった。

(2) 診療支援部会の取り組み評価(最終評価)と次年度の取り組みについて(資料 4-1、2)

部会長から、平成 29 年度のアクションプランについての説明があり、今年度と同じ内容でいくこととなった。

次いで、今年度の各事項についての進捗状況(A~D)を確認した。

先進的(高度)ながん医療については、情報の更新を行うとともに、各病院の治験等の確認も行ったことから(A)とした。

がん診療連携拠点病院等のがん診療に関する機能分担の評価の検討、がん医療の質の向上に向けたアウトカム評価の検討、並びに、診療支援推進の仕組みの検討等については、意見交換を行い、少しずつ進んでいる状況から、いずれも(B)とした。

各団体の取組を把握していくことについては情報共有を行ったことから(A)とした。

HP の拡充、メーリングリストの利用によるネットワークの構築については、掲載情報「先進的(高度)ながん医療」の情報更新を行い、また、「がん情報しが」のアクセス件数が伸びているので(A)とした。

総合的には（A）評価とした。

また、P D C Aチェックリストについて、Actionとしては、「「がん情報しが」のアクセス数を確認しつつ、掲載情報の更新を図る。」とすることにした。

#### （4）その他

がん患者団体連絡協議会から、

- ・各病院等における、がんと向き合う週間の取り組みについての謝辞があった。
- ・「がん情報しが」について、患者目線から確認していきたい旨発言があった。
- ・諸団体が連携していただき、がん患者にとってよりよい情報提供をしていただけることに期待しているとの発言があった。

以上

#### 【配布資料】

（資料1）平成26年度 滋賀県におけるがん検診実施状況

（資料2）平成28年度 各団体の取組について（平成28年度結果、平成29年度予定）

（資料3）「がん情報しが」アクセス状況

（資料4-1）滋賀県がん診療連携協議会アクションプランシート（診療支援部会）

（資料4-2）平成28年度滋賀県がん診療連携協議会P D C Aチェックリスト（診療支援部会）

診療支援部会 部会員名簿

前回議事概要（平成28年度 第2回診療支援部会 10月18日開催分）

（席上配付資料）

- ・がん診療提供体制のあり方に関する検討会 議論の整理概要
- ・がん診療提供体制のあり方に関する検討会における議論の整理